

# 河野さんが外部監査人に

## オウムから分裂「ひかりの輪」

オウム真理教から分裂した「ひかりの輪」(上祐史浩代表)が、第三者に活動を監視してもらうために新設した「外部監査人」に、松本サリン事件(1994年)で妻を亡くした河野義行さん(61)が就任することになった。河野さんは「教団との橋渡し役として、施設周辺の住人の不安解消につなげたい」としている。

「ひかりの輪」によると、これまで河野さんや大学教授ら5人が外部監査人への就任を承諾。監査人は今後、施設への立ち入りなどを通じて実態を確認し、違法行為があると判断した場合は、告発や公表によって活動を是正させるという。

河野さんは先月中旬に就任の打診を受けたといい、「施設周辺の住人が漠然とした不安を抱えて暮らすよ

りは、公正な立場から情報発信することで信者も人も普通に暮らせるようになる方がいい」としている。「ひかりの輪」と主流派の「Aleph(アレフ)」は、現在もオウム真理教の教祖だった松本智津夫死刑囚(56)の影響下にあるとして、団体規制法の観察処分の対象になっている。来年1月末で期限が切れるため、公安調査庁は先月、公安審査委員会に3年間の更新を請求。「ひかりの輪」は同委員会に処分の取り消しを求めている。

●補導中に殴った疑い  
栃木県那須塩原市で11月中旬、那須塩原署の地域課長が補導しようとした同市の中学3年の男子生徒の顔を殴り、軽傷を負わせた疑いがあることが3日、わかった。県警は容疑が固まり次第、特別公務員暴行陵虐致傷容疑で書類送検する。

●作文コンクール表彰式  
第61回全国小・中学校作文コンクール(主催・読売新聞社、後援・文部科学省、各都道府県)の表彰式が3日、高円宮妃久子さまをお迎えし、東京都内で行われた。

教育委員会、協賛・日本漢字能力検定協会、JR東日本、JR東海、JR西日本、協力・三菱鉛筆)の中央表彰式が3日、高円宮妃久子さまをお迎えし、東京都内で行われた。

応募は3万7628点で、入賞33点のうち14点が東日本大震災に関わる内容。久さまは震災の受け止め方は「一人一人違うと思います。それを自分の言葉で残すのは素晴らしいこと」とお祝いの言葉を贈られた。

小学校低学年の部で文部科学大臣賞の土屋有生(ゆうき)君(東京・聖徳学園小2年)が、ボランティア体験を通じた被災地との交流をつづった受賞作を朗読し、写真賞も受賞した。小学校時代の受賞となった中学校の部、三船恭太郎君(岩手大教育学部付属中3年)は、震災後の思いを作文に書く

ことが「復興へ向けての私の第一歩となりました」と感謝を述べた。

●日本の古典文学解説  
日本文学研究者で、東京大教授のロバート・キャンベルさんを講師に迎えた「読書教養講座」(活字文化推進会議、西南学院大主催)の公開授業が3日、福岡市の西南学院大で行われた。学生、市民ら約400人が耳を傾けた。

同市・博多湾に浮かぶ島にちなんで「能古島(のこのしま)」の上にも「枕草子」の月はおどる」とのタイトルで、キャンベルさんは日本の古典文学や自身の読書体験について講演した。幕末、福井藩で活躍した歌人、橋野寛(たかはな・あけみ)の和歌に表現された心の豊かさを

解説。「閉塞感が漂っている今の日本で、私たちは何を支えに歩んでいけばいいか。読書は時空を超えて、示唆を与えてくれる」と話した。

●教師カシンプジウム  
教育ルネサンスフォーラム「第7回教師カシンプジウム」(読売新聞東京本社主催)が3日、東京都内で開かれた。テーマは「子どもの心、子どもと情報」。東京都教育委員でNPO法人「おやじ日本」の竹花豊理事長が「社会の変化と学校力・教師力」と題した基調講演を行い、「子どもの心理ケア」や「デジタル時代の教師育成と授業」について、創価、明星、早稲田、玉川、帝京、武蔵野の各大学の教員らが議論した。(詳細は25日朝刊掲載予定)

【ワシントン】山田哲朗  
シュレッダーにかけられた文書を解説する米国防総省

高等研究計画局(DARPA)の公開コンテストで、同局は2日、米カリフォルニア州のチームが全文書の復元に成功、賞金5万ドル(約390万円)を獲得したと発表した。

競争には約9000チームが参加。このうち優勝し

たのは、サンフランシスコの少人数のコンピュータ

プログラマーらで、紙片の組み合わせ案を探索するプログラムを開発、提示された組み合わせを人間が確認していく方法で、5種類の文書、計1万個の紙片を復元した。

専門家の間では当初、そもそも短期間での完全解答

は不可能との見方もあった。同局は「コンピュータだけではなく、人間の力も組み合わせる手法が最も効果的だった」と評価している。

(詳細は25日朝刊掲載予定)

# 省エネ「フクシマ」世界が注目

【ダーバン(南アフリカ)】吉永亜希子「原子力発電所の事故で国際的に知られるようになった「フクシマ」の小さな会社の省エネ技術が、南アフリカ・ダーバンで開催中の国連気候変動枠組み条約第17回締約国会議(COP17)の会場で紹介され、注目を浴びている。

環境対策の資材を製造販売する福島市の「フミン」。



COP17の会場で福島市の会社の省エネ技術について関心を示す来場者(右)(2日、吉永亜希子撮影)

太陽熱を遮断する溶剤を窓ガラスにスプレーで吹き付け、凹凸のない透明な膜を作る技術を開発し、特許も得た。部屋の明るさを損なうことなく室温を一定に保つことができ、冷房の節約につながる。八木沢勝夫社長(60)によると、2007

年にはヒートアイランド防止の環境省の実証モデル事業に選ばれ、国立新美術館東京・六本木)で採用。シンガポールの高級ホテルなどからも注文が入っているという。

経済産業省と日本貿易振興機構(JETRO)が会場に設けた日本の省エネ技術コーナーで紹介、熱を遮断するガラスと普通のガラス

に光を当てて温度変化を実際に比較できる。将来は温室効果ガス削減の技術を開発したいというダーバン工科大2年のスインビュク・ズーザン(23)は「革新的な開発で車や事務所にも応用できそう。とても参考になった」と話していた。

八木沢社長は商用で現地に入りできないが、「環境に関心の高い人が世界中から集まる会議で福島発の技術を知ってもらえてありがたい」と喜んでいる。

# 原発被害の完全賠償要求

## 双葉郡1400人大会で決議

東京電力福島第一原発事故で避難生活を送る福島県双葉郡8町村の住民が3日、「原子力被害の完全賠償を求め、双葉地方総決起大会」を同県いわき市内で開き、帰還へ向けた環境づくりとすべての損害の賠償を国と東電に求める決議を採択した。

大会には、同原発から半径30キロ圏内に全部または一部が入る浪江、双葉、大熊、富岡、楢葉、広野6町、葛尾、川内2村の住民約1400人が参加。「国は、東

京電力の賠償金を代理弁済すること」「国と東京電力は、避難町村および住民にかかわるすべての損害を完全賠償すること」「国は、賠償範囲の指針策定にあたる」原子力損害賠償紛争審査会の委員に我々を参加させることなどを決議し、井戸川克隆・双葉町長らが平野復興相と西沢俊夫・東京電力社長に手渡した。

西沢社長は「きちんと賠償すること、これが私の役目」と発言したが、会場からは「ふ

ちは帰りたいんだ」などの怒号が飛んだ。

JAふたばの篠木弘専務が「作付け制限、出荷自粛、風評被害などで甚大な被害を被った。3月11日以前の状況に戻してほしい」と要請。浪江町立機世橋小の佐藤博美PTA会長は「泣くこと、じっと我慢する子、子供たちが受けてきた苦痛、これから受ける苦痛に、国と東電は責任をもってほしい」と切実な状況を訴えた。

「ガンパロー」を三唱する参加者たち(3日、福島県いわき市)

政府などの指示で避難所に移った人には、精神的損害に対して月額12万円を支払うことや、交通費、宿泊費、企業や農林漁業者らの営業損害の算定方法などを定めている。

しかし、福島県は「中間指針は、賠償範囲の最小

限の基準ではない。原発事故に伴う損害はすべて賠償されるべきが大原則だ」との方針。佐藤雄平知事は11月24日、野田首相に対し、全県民の精神的な損害なども東電の賠償指針に反映させることを求めた。

「政府の中間指針」「最小限の基準」

福島県伊達市などで収穫された玄米から国の暫定規制値(1キログラムあたり0.005ベクレル)を超える放射性セシウムが検出された間瀬で、伊達市が市内全域で水田の土壌調査に乗り出すことがわかった。県によると、自治体が農家全戸の水田で土壌検査をするのは初めて。

市によると、早ければ年

明けにも、暫定規制値を超えた小国、月館の両地区から調査に着手し、稲作農家全戸で順次進めていく。

水田の土壌調査は、県が福島市大波地区などでサンプリング調査を実施しているのみ。伊達市の担当者は「サンプリング調査では十分ではない。農家に安心してもらうためには、田んぼを1枚ずつ調べる覚悟」として

救援  
災害救援のため、(00190)事業団)か、kari.or.jp 日本大震災」替の手数は、寄付者名を地などにその旨場合、詳細は

各地の気温と天気 3日  
 (天気・温度は午後3時現在、最高は午前0時~午後3時、最低は前日午後9時~午前9時)

地域	最高	最低	湿度
東京	13.8	6.5	85
札幌	0.3	-4.9	90

12月再スタート!!  
 12月生若干名募集 来年8月受験生募集開始  
 転編入生 高卒資格!